

発達一人一人へのまなざし

発達の理解

M児

[写真④]

[写真③]

きれいな水も入れよう

M児

大丈夫！洗濯するから



Mくんごめん、かかしさんのお洋服汚しちゃった

[写真⑤]

ぐるぐる回した方が落ちるんじゃない？

5歳児5月～6月「田んぼごっこ」

③泥場で他の遊びをしていた同じ5歳児の友達が、かかしに泥水を引っかけてしまい大慌て。「あっ、これMくんのかかし！汚しちゃった、どうしよう...。」④「大丈夫、洗濯すればいいんだよ」と、M児。園庭の道具置き場から運んできた手押し車に水を溜め、かかしに着せていた洋服（材料として使用した布切れ）をジャブジャブと洗い始めた。⑤面白そうな様子に他の友達が数人やってくと「洗濯機みたいに回した方が落ちるよ」「きれいな水を足してみよう」と、洗濯のお仕事になっていく。しばらく続けた後「よし、きれいになった」と満足気なM児。干す場所を探すM児の様子から、田んぼ遊びへの思いを汲みとった保育者は、泥場の傍に干すことができるように、洗濯ロープ（紐）を張る場を一緒に準備した。

[写真⑦]

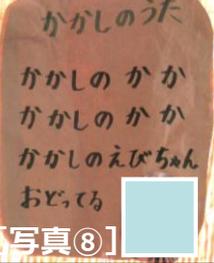
お米はまだですが「かかしのお米」は売ってますよー

M児

T児

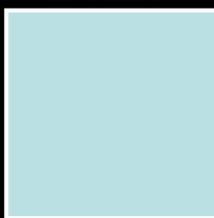
[写真⑥]

片付けの時間は、



[写真⑧]

⑥梅雨空続きの6月中旬、この日も雨。M児たちの所へやって来た女兒が「田んぼのお米できたの？」と尋ねた。T児が「できたよ！」と応えると、M児と一緒に何かお米になるものを探し始めた様子。「先生、何かお米になるものない？」とT児。保育者がわら半紙（梱包等で使用される紙）を提案すると「うん、いいね」とM児。紙をくしゃくしゃにしてお米に見立てると、それを透明袋に包み「これはつや姫、これはコシヒカリ！」と売り出す2人。⑦次の日も雨模様、肌寒い朝。登園するやいなや「かかしにおうちつくりたい」とM児。おうちになりそうな大きな段ボールを見付けると、M児は壁（段ボール）に絵を描き出した。⑧ある日、小さいな声で鼻歌を歌いながら歩いているM児を見かける。保育者は、そとM児に近づき、メロディと歌詞をこそっそり聴き取った。何とかして聴き取った保育者が「こんな感じでどう？」とM児にピアノで弾き語りをしてみせると、大喜びのM児。一緒にみんなに披露すると「かかしの歌」はみんなのお気に入りの歌となった♪（実際は2番まであり）



[写真①]

①「畑でカラスを見たことあるよ」と、田んぼ（泥場）はもちろん、みんなで野菜を育てている園の畑にもかかしを設置したM児たち。
②M児は、他の遊びをしている日も、毎日ここへ戻ってきては水の管理を続けた。

子供のこがすいー
発達に必要なものを
自ら獲得するー



[写真⑨]

⑨6月下旬、登園したM児の目の前に、まさならな状態の泥場があった。田んぼがなくなっている。どうやら園の職員が勘違いをし、片付けてしまったらしい。「Mくん、ごめん」謝ってはもらったものの、M児は一人、泥場をとぼとぼ歩き回っていた。どうするM児？ <次号に続く>

後日、この事例を園内で共有した際には、「描きたる園の時ってこんな風にやってくるんだね」と、保育者同士語り合いました。M児にとってのこの遊びの意味の深さについて、改めて語り合いました。

ちよつとメモ

「片付けがスムーズになるためにどう取り組んでいくとよいか」といった話題になる時があります。例えば片付けの場面に写真を掲示する等の工夫は、多くの園が実践されていると推測します。加えて言うならば、所謂「お片付け」の位置付け、教育課程・計画の中でどう位置づけ、その教育的意義をどう考えることは重要だと思います。再考することは重要ですが、片付けについては、幼稚園教育要領解説等では「幼児が遊びを振り返る場面の一つ」として、指導計画の留意事項の章で取り上げられています。片付けをしながらい明日への期待感を膨らませている場面でもあり、わくわく片付けをしている様子「雰囲気」として周りに伝えている様子。ここでの教師の関わりは重要と、いった趣旨が、明記されています。その遊びも言い換えれば「未練なく片付けが済んでしまう状況」に片付けが済んでしまう状況の遊びは、果たして充実しているのかと問えば、疑問が残ります。保育者は、目の前の子供にどのような片付けを向けるか、片付けの時間を共に過ごすという時間があるか、「お片付け」という区切り、その活動と活動の「区切り」の思いや意識のつながり、連続性を保育者が寄るもの、遊びの時間と他者とのつながり、遊びの時間を共に過ごす小学校の思いを、教師側科生活科を導くにも共通する、大切なまなざしです。